

ごあいさつ

9月の議会では平成28年度の決算議案が出されました。支出は一般会計約228億円、特別会計約205億円です。今後、人口減少による税収減が見込まれるなかで、サービスを低下させないよう、効率の良い運営をしていかなければいけません。しかし、経費削減だけでなく、人口減少に歯止めをかけるための事業や地域発展のための事業に資金を投入することもまた必要なことです。

そんな中、子育て支援や移住定住政策に力を入れることで人口増を達成している自治体もあり、今後は地域独自の政策がさらに重要になってきます。

安中市でも、給食費の段階的無料化や子育て支援拠点事業などが進んでおりますが、費用対効果を含め、内容や進捗状況を注視していかなければいけません。

議員として、市民の皆様には様々な情報やプランを提供し、この誇りある安中市をつくるため不撓不屈の精神で活動して参ります。

小林かつゆき 後援会報 vol.8

安中市議会議員

小林かつゆき
議員活動報告百の議論より
一つの実行!初心を忘れず
取り組みます!活動期間
平成29年
7月~9月9月の
定例議会

一般質問

9月定例議会にて行いました一般質問の内容をお伝えします。

観光振興について

安中版DMOについて

問 今後の補助金の推移は。

答 国からの交付金につきましては、平成32年度までは、地方創生推進交付金として、事業費の1/2が交付される予定です。平成32年度以降は、DMO法人として、認定された法人には、新たな交付金が受けられる見込みです。

問 新しい情報収集の取り組みは。

答 RESAS(地域経済分析システム)を利用しての観光客の動き等の情報を収集したいと考えております。



RESAS(地域経済分析システム)とは

産業構造や人の流れなどを数字だけでなく見える化したデータサービスのこと。例えば、携帯電話の位置情報を利用して観光客の実際の動きを把握することができ、効果的な観光戦略を立てることが可能になります。

問 インバウンド(外国人観光客)の目標数字は?

答 平成32年度末までに、年間30,000人を達成できるよう関係団体と連携協力していきます。

地域医療について

公立碓氷病院について



問 包括支払制度(DPC)導入はどうか。

答 昨今、病床数の多少に関わらずDPC対象病院へ移行する病院が増加していますので、今後検討していきます。

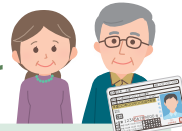
予防接種について



問 ほぼすべての子どもがかかるロタウィルスは毎年死亡例もある大変危険なウィルス。ワクチン接種費用の一部助成をすべきでは。

答 県内では助成している自治体もあるので、今後検討します。

交通安全対策について



高齢者運転免許証自主返納支援事業について

問 返納状況は。

答 平成29年度4月~8月まで84名で昨年のほぼ倍で推移しています。

問 タクシー券だけでなく、バス利用券やアシスト自転車購入費補助など、選択肢を増やすべきでは。

答 他の方法も含め検討してまいります。

地域医療対策特別委員会 行政視察報告

美濃市立美濃病院〈病院経営について〉

日程▶2017年7月10日(月) 場所▶岐阜県美濃市

経営形態	地方公営企業一部適用
診療科	常勤……内科・外科・小児科・整形外科・眼科
	非常勤……脳神経外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・放射線科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科
病床数	122床(10対1DPC病棟77床、地域包括ケア病棟45床)
職員数	180名
医師数	常勤12名、非常勤22名



美濃市立病院は一時はおよそ13億円あったの累積赤字を7年で完済した病院です。平成17年に新しい病院長による新体制が発足し改革を行うことで5年で収支の黒字化に成功。経営改革の特徴として

①常勤医師、看護師の確保はまったく進んでいない(それどころか常勤は減ってしまった)

②しかし効率性の向上による利益率改善によって収益を回復。

病床機能を分化し、さらにDPC(包括支払制度)の導入で「適切な患者に、効率的な医療が提供される」ようになったわけです。



新しい病院長に **40代の若い院長を起用した!**
職員の意識改革が進み改革ができた!

現状の医師・看護師数のままでも意識改革と効率化で収益改善が出来るというまさにお手本の事例です。

大和市立病院〈運営について・医師確保について〉

日程▶2017年7月11日(月) 場所▶神奈川県大和市

経営形態	地方公営企業一部適用	病床数	403床(一般病床)
診療科	29科	医師数	常勤86名

平成18年では常勤医師が49名だったが、およそ10年で**86名と倍近い医師の確保**に成功している病院です。また経営の**黒字化も3年連続**で達成しています。特徴は**医師の待遇改善**です。

取り組み内容

- 医業収益の一部を還元する診療手当の新設
- 子育て中の女性医師に対して短時間勤務制度の導入
- 当直医の負担軽減の為、非常勤を積極的に活用
- 24時間保育の導入 ● 給料アップ
- 救急勤務手当や管理緊急呼出手当の新設
- 医師の負担軽減のため看護師等との業務分担を見直し
- 医師事務作業補助者を配置、充実
- 分娩手当の引き上げ ● 医学系大学教室への訪問

その他行政視察報告

熊本地震における取組について

日程▶2017年8月7日(月) 場所▶熊本県益城町 益城町地域支え合いセンター

益城町地域支え合いセンターは、地元企業の敷地内の仮設の事務所内で運営されています。これは震災時に市役所を始め公共施設が軒並み被害に遭ってしまったからです。業務内容は・公的支援へのつなぎ・見守り・コミュニティづくり支援です。担当者のお話の中で、「**多くの顔見知りをつくるのが重要**」とありました。言葉にすると簡単ですが、震災を体験し、社協で尽力した方の生の声は真剣で重く感じました。その後は、実際の被災現場を案内して頂きました。益城町の復興を祈念いたします。



仮設事務所



町役場

(株)くまもとDMCの運営について

日程▶2017年8月8日(火) 場所▶熊本県熊本市中央区上通町

「(株)くまもとDMC」は、全国でも少数の【株式会社】のDMOです。担当して頂いたのは、故郷が震災に見舞われなんとかしなければとリクルートを退職しDMCの取締役に就任した、**信念のある女性役員**の方でした。事業内容は、・ビックデータなどによるマーケティング・日本版DMO設立支援業務・ホテル旅館向けのデジタルマーケティング支援・地域ブランドの企画、立案、実施・着地型旅行商品企画開発、販売・地域特産品企画開発、販売・インバウンド受入環境整備・マーケティングツールのコンサル企画制作などです。

その他にもウェブの運営や農家の販路開拓、ゴルフの案内、財団の業務委託など、利益確保のための様々な活動内容を教えて頂きました。

株式会社として収益の確保は宿命であり、様々な事業を考え実行し、さらに見通しの無いものはやめるという**決断のスピード**がとにかく大事との話で、そのハングリー精神にとっても感心させられました。

安中市では補助金をDMOに出しているという話をした時、「それなら資金は潤沢ですわね!」と間髪入れずに言われた事はとても印象に残っています(汗)



私たちは、小林かつゆきの活動を応援しています!

小林かつゆき 後援会事務所

〒379-0127 安中市磯部 1-11-41(碓氷堂印刷内)

TEL.027-385-8820 FAX.027-385-3527

E-mail: tairin@peach.ocn.ne.jp

毎日更新中! /



facebookでは日々の活動をご紹介します。是非ご覧下さい。

小林克行 安中 検索

※平成29年7月~9月まで

- 6月25日 / あんが防災フェア
- 27日 / 安全パトロール
- 浪瀆倶楽部 編集会議
- 28日 / 郊外指導委員会
- 並木グループ協会の
- 7月1日 / 安中J.C主催弁当の日 講演会
- 4日 / 議会報編集委員会
- 民声クラブ会派打ち合わせ
- 5日 / 敬老会打ち合わせ会議
- 区長、自治会長、副自治会長合同納涼会
- 6日 / おやじの会 会議
- 7日 / 学校保健委員会
- 鉄道遺産群を愛する会 会議
- 10日 / 地域医療対策特別委員会視察
- 11日 /
- 12日 / 議会報編集委員会
- 13日 / タウンミーティング
- 14日 / 磯部交流会
- 17日 / 温泉街提灯飾り
- 18日 / 民声クラブ会派打ち合わせ
- 消防会議
- 19日 / 鉄道遺産群を愛する会 会議
- 20日 / 温泉祭り打ち合わせ
- 足湯清掃
- 議員研修会
- 21日 / おやじの会 会議
- 22日 / 鉄道遺産群を愛する会 総会
- 23日 / 愛宕神社祭り
- 28日 / 学校探検会議
- 29日 / とみおか夏祭り
- 七夕まつり
- 8月1日 / 温泉祭り 花火現場草刈り、看板設置など
- 3日 / 安小ダディース会議
- 5日 / 安小ダディース学校探検
- 6日 / こども議会
- 7日 / 行政視察
- 8日 /
- 9日 /
- 10日 / 温泉祭り 防護策設置、やぐら設置など
- 碓氷教育会夏季教育研究集会
- 小学校プール当番
- 温泉祭り打ち合わせ
- 13日 / 温泉祭り 仮設トイレ設置など
- 14日 / 温泉祭り 1日目
- 15日 / 温泉祭り 2日目
- 16日 / 温泉祭り 3日目
- 17日 / 温泉祭り後片付け等
- 地域医療対策特別委員会
- 商工会青年部定例会
- 18日 / 市議会議長会 研修会
- 19日 / 観音様盆踊りパトロール
- 高別当夏祭り
- 21日 / 小学校環境整備作業
- 24日 / 温泉祭り反省会
- 25日 / 小学校プール当番
- 敬老会打ち合わせ
- 26日 / 通学路草刈り
- 27日 / 高別当グラウンド清掃
- 28日 / 手話言語条例学習会
- 9月3日 / 磯部地区敬老会
- 4日 / 議会開会 議案上程等
- 5日 / 温泉組合定例会
- 6日 / 決算審査特別委員会
- 7日 / 決算審査特別委員会
- 消防ポンプ操法練習
- 9日 / ユネスコ座談会
- PTA意見交換会
- 11日 / 総務文教常任委員会
- 12日 / 福祉民生常任委員会
- 13日 / 経済建設常任委員会
- 14日 / 消防ポンプ操法練習
- 15日 / 一般質問
- ユネスコ協会理事会
- 16日 / 社協コスモス除草作業
- 福祉ふれあいまつり 前日準備
- 17日 / 福祉ふれあいまつり
- 19日 / 一般質問
- 消防防隊訓練
- 21日 / 委員長報告・採決 閉会
- 足湯清掃
- 消防ポンプ操法練習
- 22日 / 防災研究会 講演会

経歴

- 1975 (昭和50年) 安中市磯部に生まれる
- 1988 (昭和63年) 磯部小学校卒業
- 1991 (平成3年) 安中市立第二中学校卒業
- 1994 (平成6年) 前橋育英高校卒業
- 1999 (平成11年) 大東文化大学法学部卒業
- 東京近郊にて不動産会社に就職
- 2004 (平成16年) 安中市に帰郷し業家に従事する
- 2005 (平成17年) (社)安中青年会議所 入会
- 2012 (平成24年) (社)安中青年会議所 [第40代・理事]

現在

- (公社)安中青年会議所シニアクラブ[会員]
- 安中市商工会青年部[部員]
- 安中碓氷ユネスコ協会[理事]
- 鉄道遺産群を愛する会[事務局員]
- 磯部温泉組合[理事]
- 安中市消防団 [第3分団第1部・団員]
- NPO法人碓氷浪瀆倶楽部[会員]
- 家族 妻・長男(10才)・長女(7才)